

6年生保護者の皆様

令和6年度 6学年「理科」シラバス

学習の目標

自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成することを目指します。

評価の観点

評価の観点	どんな学力か
知識・技能	自然の事物・現象について理解するとともに、観察・実験などの目的に応じて、器具や機器などを選択して、正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録する。
思考力・判断力・表現力	自然の事物・現象の仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくりだす。
学びに向かう力	自然の事物・現象に進んで関わり、粘り強く、他者と関わりながら問題解決しようとするとともに、学んだことを学習や生活に生かす。

評価の方法

理科の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○観察・実験中の技能 ○発言、発表 ○単元テスト ○小テスト
○ワークシート ○ノート ○提出物

学習計画

月	単元名	主な学習内容
4月	1 物の燃え方と空気	・物の燃焼のしくみについて、植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを理解する。
5月	2 動物のからだのはたらき	・人や他の動物の体のつくりについて興味・関心をもって追求する活動を通して、体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることを理解する。 ・食べ物は、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかった物は排出されることを理解する。 ・血液は、心臓のはたらきで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいることを理解する。 ・体内には、生命活動を維持するためのさまざまな臓器があることを理解する。
6月	3 植物のからだのはたらき	・植物が葉で養分を作る働きについて、植物の葉に日光が当たると「でんぷん」ができることを理解する。 ・植物の体内の水などの行方について、興味・関心をもって追求する活動を通して、根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散していることを理解する。
7月	4 生き物どうしのかかわり	・生物と環境の関わりについて興味・関心をもって追求する活動を通して、生物は水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解する。 ・生物の間には、食う・食われるという関係があることを理解する。
9月	5 月の形と太陽	・天体について興味・関心をもって追求する活動を通して、月の輝いている側に太陽があること、月の形の見え方は太陽と月の位置関係によって変わることを理解する。 ・月の表面の様子は、太陽と違いがあることを理解する。
10月	6 大地のつくり	・土地のつくりや土地のでき方について興味・関心をもって追求する活動を通して、土地は、礫、砂、泥、火山灰及び岩石からできており、層をつくって広がっているものがあることを理解する。
10月	7 変わり続ける大地	・地層は、流れる水の働きや火山の噴火によってでき、化石が含まれているものがあることを理解する。 ・土地は、火山の噴火や地震によって変化することを理解する。
11月	8 てこのはたらきとしくみ	・てこについて興味・関心をもって追求する活動を通して、水平につり合った棒の支点から等距離に物をつるして棒が水平になったとき、物の重さは等しいことを理解する。 ・力を加える位置の大きさを変えると、てこを傾ける働きが変わり、てこがつり合うときにはそれらの間に規則性があることを理解する。 ・身の回りには、てこの規則性を利用した道具があることを理解する。
12月	9 電気と私たちの暮らし	・生活に見られる電気の利用に興味・関心をもって追求する活動を通して、電気は作り出したり蓄えたりすることができることを理解する。 ・電気は、光、音、熱などに変えることができることを理解する。 ・電熱線の発熱は、その太さによって変わることを理解する。
1月 2月 3月	10 水溶液の性質とはたらき	・いろいろな水溶液の性質や金属を変化させる様子について追究する活動を通して、水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあることを理解する。 ・水溶液には、気体が溶けているものがあることを理解する。 ・水溶液には、金属を変化させるものがあることを理解する。
3月	11 地球に生きる	・生物と環境の関わりについて興味・関心をもって追求する活動を通して、生物は、水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることを理解する。 ・人間の生活が環境に影響を及ぼしていることを理解する。

家庭学習でできること

○調べ学習

- ・身の回りのものの働きや仕組みを調べてみる。(本やインターネットなどを利用して)
- ・学習したことから疑問をもってさらに詳しく調べてみる。

○学習した働きや仕組みが利用されている道具を探してみる。

○授業で学習した内容と、生活の中での経験・体験を対応させ、実感をもって学ぶ。

(例) バーベキューの炭を燃焼させる 旅行先で地層を観察する 等

○ミライシードのドリルパークの問題を解いて復習する。